

法律談
相法
尺40

伊勢神宮としめ縄

高橋 司 たかはし・つかさ

弁護士。1963年生まれ。北海道大学大学院法学研究科修了。「公事宿法律事務所」代表。

令和5年11月23日、私は伊勢神宮内宮に参拝した。前日の22日お昼過ぎに伊勢市に到着し外宮に参拝した上で翌23日を迎えた。例年どおり神棚に年末お供えする角祓いをいたぐため、この時期に参拝するのが恒例となっていたが、収穫された新穀を神に奉り、その恵みに

感謝し國家安泰、国民の繁栄を祈願する新嘗祭の当日に参拝するのは初めてのことであった。新嘗祭では、祀られているそれぞれの神様に、その年にできた五穀をお供えする大御饌と天皇陛下の勅使が伊勢神宮に遣わされて神前に供物を神様にお供えする奉幣がなされる。実際に、前日22日に外宮を参拝していだところ、外宮に勅使が到着したというお知らせがあつたが、これは外宮では23日当日午前4時ころからこられる行事が始められることによるのだと思う。

かがつたところ、怪力の天手力男命が天照大神の手を取り外に導いた
というあの神話である。そして、神々は、二度と天照大神が岩戸に入
らないよう結界として注連縄を張ったのがしめ縄の起源ということであ
る。なお、結界を張ることで、神域と現世を隔てて不浄なものが入らな
いようにする。

ところで、伊勢神宮から頂くしめ
縄には、「蘇民将来子孫家」と記載さ
れているものや「笑門」と記載さ
れているものがあり、たとえば、北海
道神宮ではこのようしなしめ縄は頂
くことができない。

神社や明治神宮も同様であり、私が参拝した、しめ縄がある九州の宗像神社や天河大辨財天社や出雲大社と大きく異なる。日本の文化は唯物神を信奉するものではなく、山や川などに神が宿るとして崇拜し、また、八百万の神がいることを認めている。八百万の神が神有月に集う出雲大社の文化というものを考えれば、天皇家の祖先神を祀る神社である天孫系神社とは一線を画されているのかもしれない。もちろん長きにわたる時間の流れの中で混同していくた神社もあったかもしれない。私が参拝している北海道神宮は、明治天皇を祀っているがしめ縄

きほど出てきた須佐之男命が夕暮れに泊まるところがなく困っていたところ、蘇民将来という男性が貸しもてなしたところ、須佐之男命がこれを喜び、「宿の恩」として、蘇民将来の子孫と書いて茅の輪を門口にかけておけば子孫代々病を免れると言い残し、蘇民家はその後疫病を免れ代々栄えたという言い伝えによる。

「ソリューションで考え深」とある。それ

さて、私は今年から伊勢神宮からしめ縄を頂くこととなつた。今までしめ縄のことを深く考えたことはなどなかつたが、その歴史は、天照大神の岩戸隠れまでさかのぼることがわかつた。父神である伊弉諾命から地位を譲られた天照大神が高天原を統治することとなつたが、弟神である須佐之男命の高天原での乱暴狼藉に手を焼き、我慢ならず天岩屋戸に籠もつてしまつたこと、これにより天上の高天原も地上の世界の葦原中國も全て暗黒の世界となり、多くの災いが起るようになつたこと、困つた神々が会議を開き、あめのうすめ天宇受売命が大勢の神々の前で激しく踊り、大きな笑い声と歎声をあげていたのが気になつた天照大神が岩戸から顔を覗かせて様子をう

ここで考え深いことがある。それは、伊勢神宮には鳥居にも拝殿にもしめ縄がないことである。さらに伊勢神宮には狛犬も賽銭箱も鈴もおみくじもない。この傾向は、天孫系神社と言われている霧島神社・宇佐

「子孫家」と記載されたしめ縄を飾りたい。伊勢市では、しめ縄は正月の期間中だけ飾るものではなく年中飾っている。伊勢神宮を参拝していく不思議に思っていたが、前に述べた須佐之男命が蘇民将来に言い残した言葉を踏まえるといつも飾り続けるものなのかもしれない。